

学校関係者評価の報告について

本校では、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、自己点検・評価を行っております。また、更なる教育の質の向上を目指し、専攻分野に関する業界や企業・関係団体、卒業生の方々を中心にご意見を賜り、今後の教育活動や学校運営に反映するべく、学校関係者評価委員会を実施しました。その内容結果について、学校関係者評価報告書として公表いたします。

委員の皆様には、多くの貴重なご意見やご指導をいただき、あらためて感謝申し上げます。今後は、評価委員の皆様からいただいた貴重なご意見やご助言を真摯に受け止め、より質の高い教育と学校運営の実現に向けて教職員一同努めてまいります。引き続き、温かいご支援とご指導をお願い申し上げます。

令和7年7月3日

学校法人臼井学園
北陸ビジネス福祉専門学校
校長 山本 慎治

学校関係者評価報告書

学校法人臼井学園
北陸ビジネス福祉専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人臼井学園 北陸ビジネス福祉専門学校令和6年度自己点検・評価報告書及び関係資料等に基づいて実施した学校関係者評価を次のとおり報告します。

1. 日時：令和7年6月16日（月）16：10～16：50
2. 場所：学校法人臼井学園 7号館 図書室
3. 出席者

〔委員〕

青山 和也（株式会社エクシーズ、企業関係者）
平田 洋介（社会福祉法人Q.O.L福祉会、福祉業界関係者）
清水 剛志（しみず社会福祉事務所、福祉業界関係者）
藤井 順子（医療法人太閤山病院、福祉業界関係者、卒業生）

〔学校側〕

山本 慎治（校長）
眼目 早苗（医療秘書学科 学科長）
岩城 小百合（精神保健福祉学科 学科長）
窪田 真由美（介護福祉学科 学科長）
前山 智信（学園総務課 課長）

（次の委員からは事前に評価表を提出いただきました）

村上 美也子（公益社団法人富山県医師会、専攻分野の関係団体）
北川 來奈（デイサービスこのゆびと一まれ、福祉業界関係者、卒業生）

4. 議題

- ・ 令和6年度自己点検・評価報告説明並びに学校関係者評価
①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援
⑥教育環境 ⑦学生の受入れ募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・
地域貢献 ⑪国際交流

- ・ 評価基準（4段階評価）

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育理念・目標

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価	意見及び活用改善策
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4	適切に定められている
2	学校における職業教育の特色は何か	4	4	即戦力を育てるという明確な方針のもとに進められている。
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	3	社会経済のニーズを踏まえた中長期の将来構想を、具体性を持って進めてもらいたい。
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3	3	オリエンテーションや保護者会等、様々な場面で周知されているが、将来構想に関する情報が不足気味で有る。特別講座など保護者にも参加いただいても良いのでは。
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等の対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	4	就職率も高く業界のニーズに合った方向づけがされていると考えられる。

(2) 学校運営

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価	意見及び活用改善策
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	3	経営会議・委員会等を実施し、策定されている。
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	3	基本方針・年間事業計画の策定がされている。中長期計画の展望が望まれる。
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	3	明確化された組織が、より有効に機能するよう取り組むことが求められる。
4	人事、給与等に関する規定等は整備されているか	3	3	就業規則の改定があり整備されている。社会情勢を考慮しながら見直しも必要である。
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	3	システムの整備をさらに進めていただきたい。
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3	コンプライアンス体制について教職員の認識を深め、管理することが大切である。
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	ホームページで知ることができる。また各機関には定期的に教員から連絡が入る。
8	情報のシステム化等による業務の効率化が図られているか	2	3	情報のシステム化による効率化を進めてもらいたい。抜本的な効率化には変革 (DX) が必要で有ると考える。

(3) 教育活動

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価	意見及び活用改善策
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	4	4	しっかり策定されている。
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4	明確になっている。
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4	法律等の変更に対応し、体系的に編成されている。
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4	選択コースを導入し、学生の視点に立ったカリキュラムの工夫がなされている、現役の高校生よりコース制に魅力が有るとの声も聞かえている。
5	関連分野の企業・関連施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	4	4	新カリキュラムにより演習数が増え、教科内容の見直しが行われている。選択コースの導入などさらに進め周知してはどうか。
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3	4	実習等体系的に位置づけられ実施されている。実習先にも新カリキュラムの内容を伝えてもらいたい。
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	4	FDの実施による評価が行われている。
8	職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	4	学校関係者評価委員会等で評価を得られている。他の評価も必要ではないか。
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4	明確である。
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4	目標資格の全国平均に対しての合格率の高さは評価できる。対策講座等がしっかり実施されている。
11	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	3	適正である。
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3	社会のニーズや各分野に精通した、教員の確保は今後ますます重要になると考えられる。
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3	加盟団体等の研修に積極的に参加している。今後も積極的に取り組んでももらいたい。また個人が意識的に行う必要もある。

14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	3	学内教職員研修会など行われている。
----	------------------------	---	---	-------------------

(4) 学修成果

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価	意見及び活用改善策
1	就職率の向上が図られているか	4	4	高い就職率である、引続き学生の就職希望先と現実との差をマッチングさせ、活躍できる場を提供してほしい。
2	資格取得率の向上が図られているか	4	4	カリキュラムの整備の他、試験対策や補習を実施されている。
3	退学率の低減が図られているか	4	4	多様な学生が入学してくる中で、早期の三者面談実施などの対策が取られている。
4	卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4	しっかり把握されている。ホームページ・SNSで紹介されている。アンケートなどの活用はされているのか。
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3	しっかりフィードバックすることが大事である。

(5) 学生支援

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価	意見及び活用改善策
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4	セミナーの実施や随時相談の機会を作り、支援体制は十分整備されている。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4	随時相談の機会を作り、しっかり整備されている。
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4	各種奨学金の相談体制や学校独自の経済的支援制度が整っている。家計への支援もセットで考慮してはどうか。
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	4	整っている。
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	3	課外活動に対する支援体制を推進している。さらに活動機会を増やしていただきたい。
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	4	適宜対応されている。学生生活を送るための生活支援などを取り組んでみてはどうか。
7	保護者と適切に連携しているか	3	3	特別講座など、保護者の方にも見学の幅を広げて、取り組みへの理解を得てはどうか。
8	卒業生への支援体制はあるか	3	4	卒業生への支援は十分だと思う。
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3	適宜整備されている。

10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	3	出前講座等に取り組んでいる。高校生の進学の実選択肢になるような取り組みも進めてもらいたい。情報を共有してもらいたい。
----	---	---	---	--

(6) 教育環境

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価	意見及び活用改善策
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3	必要性の高い施設・設備について順次整備されている。
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3	学科によってはいまだに、新型コロナの影響で実習施設等が限られている、早めの体制確保が必要である。
3	防災に対する体制は整備されているか	3	3	定期的に整備されている。

(7) 学生の受入れ募集

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価	意見及び活用改善策
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3	3	少子化の中、高校再編も進んでいる、大学数は増えている専門学校に入学したい高校生をいかに増やすか、具体策・差別化が必要と感じる。最近の高校生は自分の好きを追求している、各学科の魅力をもっと浸透させていけばよいと思う。様々な側面から見直しが必要であると考えられる。
2	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか	3	4	
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	4	

(8) 財務

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評価	意見及び活用改善策
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4	財務全般において適正に行われている。収支の改善が期待される。
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4	
3	財務状況について会計監査が適正に行われているか	4	4	
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4	

(9) 法令等の遵守

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評 価	意見及び活用改善策
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	4	専修学校設置基準に関する点検及び自己点検評価等、適正に行われている。 問題点の改善についても取り組まれている。
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4	
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	4	
4	自己評価結果を公開しているか	4	4	

(10) 社会貢献・地域貢献

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評 価	意見及び活用改善策
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3	各学科ボランティア活動に積極的に参加している、地域社会に根付いた活動は学校の認知度向上に繋がり、4年生大学との差別化にもなり更なる貢献を求める。
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	3	
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	

(11) 国際交流

No.	評価項目	自己点検 評価	学校関係者 評 価	意見及び活用改善策
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2	3	留学生の受け入れに対して中長期的な構想は有るのか。 留学生に対して日本語教育などの体制がとられている。
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等がとられているか	3	3	
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2	3	
4	学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	2	3	